



## 「諦めない心を胸に」

校長 飯野 宏

今年度も、いよいよ終わりを迎えようとしています。この一年、幼児児童生徒の皆さんは、日々の学習や学校生活の中で、それぞれの目標に向かって努力を重ねてきました。その姿を間近で見えてきて皆さんの大きな成長を感じ、大変うれしく思っています。

さて、この冬、世界のスポーツの舞台では、人々に勇気と希望を与える出来事が続きました。イタリアで開催されたコルティナ冬季オリンピックでは、日本選手団が世界の強豪を相手に最後まで粘り強く競技に臨み、多くの感動を届けてくれました。また、野球の国際大会であるワールドベースボール・クラシックでは、日本代表が結束した戦いぶりで快進撃を続け、日本中を大いに沸かせました。さらに、コルティナ冬季パラリンピックにおいても、日本選手団がそれぞれの可能性を信じ、最後まで挑み続ける姿が多くの人々の心を打ちました。

こうした選手たちの姿から改めて感じるのは、「諦めない心」の大切さです。思うようにいかない時や困難に直面した時こそ、もう一歩前へ進もうとする気持ちが、自分の可能性を広げていくのだと思います。

この冬、特に印象に残ったのは、フィギュアスケート・ペアで金メダルを獲得した木原選手、三浦選手による「りくりゅう」ペアの演技です。ショートプログラムではミスもあり5位と出遅れましたが、フリーでは今季世界最高得点を記録し、見事な逆転で金メダルを手に入れました。私も生中継でその演技を見ていましたが、思わず息をのむほどの素晴らしい演技でした。後に二人の歩みを知ると、度重なるけがや困難を乗り越えながら努力を重ねてきた日々があったことが分かり、「諦めない心」の大切さを改めて感じさせられました。

これは、皆さんの日々の学校生活にも通じることです。勉強や運動、生活の中で、思うようにいかないことや難しいと感じることもあるでしょう。しかし、そこで立ち止まらず、「もう少しやってみよう」「もう一度挑戦してみよう」と思える気持ちが、次の成長につながります。

帯広盲学校での学びの一つ一つは、皆さんの未来へと確実につながっています。小さな一歩でも、諦めずに積み重ねていくことが、やがて大きな力になります。

今年度の終わりにあたり、この一年の自分の頑張りを、ぜひご家族の皆さんと一緒に振り返ってみてください。そして来年度も「諦めない心」を胸に、新しい挑戦へと歩み続けてほしいと願っています。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、そして本校の教育活動を支えてくださっている関係機関の皆様には、この一年、温かいご理解とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

本校におきましても、子どもたち一人一人の可能性を大切にしながら、これからもよりよい学びの環境づくりと視覚障害教育の充実に努めてまいります。来年度も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 入学式・始業式のご案内

令和8年4月8日（水）

13:00~	幼児・児童・生徒登校
13:30~	着任式
13:35~	始業式
13:45~14:10	入学式
14:10~14:30	新入生在校生学級写真撮影
14:30~14:45	全体懇談（学校からの説明）
14:45~15:15	学級懇談、下校
15:15~15:30	寄宿舎懇談



## お知らせ

令和7年度の本校におけるいじめの認知件数は0件でした。

これからも、いじめを生まない安全・安心な学校環境づくりと「いじめ見逃しゼロ」を徹底し、幼児児童生徒の望ましい人間関係を構築する能力の育成に努めてまいります。

いじめに関する心配事がありましたら、些細なことでも学校または別紙ご紹介した関係機関へご相談ください。

なお、いじめ防止基本方針（R5改訂）は本校ホームページをご覧ください。

